



「明治期の低湿地データ」は、明治期に作成された地図から、当時の低湿地の分布を抽出したものです。ここで言う「低湿地」は、河川や湿地、水田・葦の群生地など「土地の液状化」との関連が深いと考えられる区域です。

凡 例

	関東地区	近畿地区	中部地区
旧河道			—
干潟・砂浜			
深田	—		
水田、田、陸田			
湿地			
砂礫地			
泥地			
塩田			
荒地			
泥炭地		—	—
ヨシ（芦葦）		—	
茅		—	—
草地		—	
河川、湖沼、海面			
堤防	-----	-----	-----

原典資料

関東地区：第一軍管地方二万分一迅速測図原図(明治13年～19年作成)

近畿地区：京阪地方仮製二万分一地形図(明治17年～23年作成)

中部地区：正式二万分一地形図(明治23年～26年作成)

5万分1地形図(明治22年～44年作成)

注：「明治期の低湿地」は、場所によってはかなりの位置誤差を含む場合があります。

関東地区、近畿地区のデータ作成に使用した原典資料は、位置の基準である三角点が整備される前に作成されたため、場所によってはかなりの位置の誤差を含む場合がありますので注意が必要です。



取得項目詳細

旧河道	干上がった河床、一般面よりの比高0.5m～1.0m 低い帯状の凹地。縁に沿って微少な凸地が認められるような個所。 注意： 通常「旧河道」の判読は、空中写真や地史資料、ボーリングデータ等、複数の資料により判読される。本データでは、他の資料を一切参照しておらず、旧河道の存否や形状において、その精度は低い。
干潟・砂浜	海岸線より海側に位置し、主に「砂」、「泥」と記された範囲。満潮時には、海面に没する地形。
深田	深田記号の付された範囲。膝ぐらいまでぬかる泥深い田のこと。
水田	「水田」、「水」と記された範囲。四季を通じて水のある田のこと。
田	「田」と記された範囲。
陸田	陸田記号の付された範囲。冬季に水が涸れて歩ける田のこと。
湿地	「湿」と記された範囲または湿地記号。
砂礫地	「砂」、「沙」、「礫」と記された範囲または砂原、石原、砂礫積記号。
泥地	「泥」と記された範囲または泥地記号。
塩田	「塩田」と記された範囲または塩田記号。
荒地	「荒地」、「曠」と記された範囲または荒地記号。ただし、山地や台地上のものは取得しない。
泥炭地	「泥炭地」と記された範囲。
ヨシ（芦葦）	「蘆」、「芦」、「葦」、「葎」、「蓮」と記された範囲。または芦葦記号。
茅	「茅」、「萱」と記された範囲。
草地	「草」と記された範囲または草地記号。ただし、山地や台地上のものは取得しない。
河川	河川や水路などの帯状の範囲。
湖沼	湖沼と記された範囲。養魚場や貯木場、小規模な農業用の池なども含む。
海面	河口部から海上の範囲。